

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	レクリエーション論	担当者名	三國 美香
授業の概要	レクリエーション・インストラクターとして、市町村協会を基盤に様々な活動を展開していけるように必要な知識や技術を実践を通して学ぶ。日本レクリエーション協会公認資格取得科目である。				
科目の到達目標	①レクリエーションの基礎理念を理解する。②人(幼児)と人(幼児)、高齢者と高齢者の架け橋になるための方法を身につける。				
DPの観点	④協調性(40)、⑥専門知識・技能(30)、⑦思考力(30)				
授業時間外学修(予習・復習)	毎回の授業内容(レクリエーションの運動の歴史について、言語的・非言語的コミュニケーションについてなど)に関しての情報収集、復習を行う(30分～1時間)				
フィードバックの方法	レポートや提出物については、コメントを付して返却する。授業での発表とコミュニケーション活動ではその都度コメントやアドバイスを伝える。				
単位認定の要件	授業内での課題についてその都度提出し、定められた基準を満たすこと。				
評価の方法・割合(%)	期末試験60%、授業内提出物20%。授業内態度20%				
履修上の注意事項					

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			レクリエーションとは。レクリエーション運動の歴史と支える制度	④、⑥、⑦	リアクションペーパー
2			レクリエーション活動の楽しさを感じる心の仕組みについて	④、⑥、⑦	リアクションペーパー
3			レクリエーション活動を集団で行う楽しさを感じる心の仕組みについて	④、⑥、⑦	リアクションペーパー
4			コミュニケーションと信頼関係づくりの理論	④、⑥、⑦	リアクションペーパー
5			良好な集団づくりの理論	④、⑥、⑦	リアクションペーパー
6			自主的主体的に楽しむ力を高める理論	④、⑥、⑦	リアクションペーパー
7			信頼関係づくりの方法・ホスピタリティⅠ(あたたかくもてなす意識)	④、⑥、⑦	リアクションペーパー
8			信頼関係づくりの方法・ホスピタリティⅡ(あたたかくもてなす配慮)	④、⑥、⑦	リアクションペーパー
9			良好な集団づくりの方法Ⅰ(集団がまとまる仕組みを活かすプログラム)	④、⑥、⑦	リアクションペーパー
10			良好な集団作りの方法Ⅱ(アイスブレーキングの効果を高める支援技術)	④、⑥、⑦	リアクションペーパー
11			自主的主体的に楽しむ力を高める展開方法Ⅰ(一つの活動の中で複数回の成功体験を楽しむ)	④、⑥、⑦	リアクションペーパー
12			自主的主体的に楽しむ力を高める展開方法Ⅱ(目標の設定の原則)	④、⑥、⑦	リアクションペーパー
13			自主的主体的に楽しむ力を高める展開方法Ⅲ(技術・経験のつながり)	④、⑥、⑦	リアクションペーパー
14			自主的主体的に楽しむ力を高める展開方法Ⅳ(アイスブレーキングの効果を高める技術)	④、⑥、⑦	リアクションペーパー
15			レクリエーション支援の実施(レクリエーション活動を対象者に合わせるアレンジ)	④、⑥、⑦	リアクションペーパー
期末試験			期末試験		

使用テキスト	「楽しさをとoshita心の元気づくり～レクリエーション支援の理論と方法」公益財団法人日本レクリエーション協会出版
参考文献 参考URL	「福祉レクリエーションの援助と実際」(公財)日本レクリエーション協会
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--